

# 岡山県立岡山西養護学校分離独立校整備事業の概要

## 1 趣 旨

県立岡山西養護学校は、県立総合社会福祉センター(現おかやま福祉の郷)の入所生を対象とする養護学校として昭和51年4月に開校したが、昭和54年度からは現在地に移転し通学生も受入れることとなった。

近年の急激な児童生徒(現在、県下最大規模245名が在籍)の増加には、プレハブ教室を設置するなどして対応してきたが、学校敷地が狭隘なためこれ以上の教室確保が困難であり、教育活動に支障をきたしている。

このため、岡山市内尾の旧県公衆衛生看護学校の校舎及び敷地を活用し、分離独立校を整備するものである。

## 2 基本計画の概要

### (1) 整備計画

#### 整備予定地

場所 岡山市内尾(旧岡山県公衆衛生看護学校跡地)  
用地 約39,000㎡(県有地、造成済み)

#### 施設規模

既存建物	鉄筋コンクリート3階建て	2,168㎡
新設建物	鉄筋コンクリート2階建て	5,824㎡
計		7,992㎡

### (2) 事業費

(単位：百万円)

総 額	財 源 内 訳		
	国 庫	県 債	一般財源
2,110	540	1,042	528

### (3) 開校時期

できる限り早急な開校が必要であり、最速の平成19年4月を目指す。

### (4) 整備手法の検討

PFIの導入を検討したが、スケジュール的に県が直接実施するよりも1年程度遅れることが必至であり、劣悪な環境を早期に改善する要請に応えられない。

また、本件整備は国庫補助対象事業となるものであり、補助制度上、竣工時点での整備費全額の支出が必要であることから、PFI導入による財政支出の平準化のメリットを十分享受できないこと等から、県が直接実施することとしたい。